

# 令和3年度 北九州観光コンベンション協会 事業計画

## 【ビジョン・事業運営方針】

「都市ブランド力の向上、新たな魅力創造及びシビックプライドの醸成に貢献し、国内外から選ばれるまちを目指す」をビジョンに掲げ、当協会の役割である

- 国内外の観光客誘致・滞在化を促進する観光事業の推進
  - 西日本屈指のMICE開催拠点＝小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンの一体的な運営によるグローバル志向のMICEを誘致・支援
- を果たすため、次の活動方針に基づき、各事業を展開する。

## 8つの活動方針

### 1. 国・県・市の政策を反映した産業振興に貢献する主催事業の機能強化 公1

- ・北九州市等の政策を反映した自主事業の開催、ビジネスマッチング機能の強化、インキュベーション型自主事業の拡充、など

### 2. 国際会議を重視した精力的なMICE誘致開催活動 公1

- ・国際会議のキーパーソンへのアプローチ、商談会等での北九州の魅力の発信、誘致開催助成金の活用、広域ネットワークによる連携、など

### 3. にぎわいと新たな領域開拓による施設利用促進 公1、収1

- ・西日本総合展示場新館・本館、北九州国際会議場の3施設一体管理によるにぎわい事業の実施と、利用者の新規開拓、など

### 4. 利便性と顧客満足度の高い施設サービスの提供 公1、収1

- ・利用者・来場者に満足してもらうための、きめ細かいサービスの提供や、快適な施設の運営、など

### 5. 情報発信・受入態勢の質を高め、国内外の観光客誘致・滞在化を促進 公2、収2

- ・国内旅行客の誘客、インバウンド誘致の強化、地域資源を活用した情報発信力の向上、など

### 6. 観光資源、地域団体と連携したまちぐるみのおもてなし気運の醸成 公2、収2

- ・観光事業・MICE事業協働による観光資源の活用、まちの魅力向上、など

### 7. 業務改善、チームワーク、個人の創造性を育む組織体制の構築 全

- ・管理運営上の問題解決、職員能力向上のための教育研修の実施、など

### 8. 持続可能な施設運営に向けた環境経営 全

- ・創意工夫による収入確保と経費節減につながるコスト管理、コンプライアンス遵守、リスクマネジメント、など

## 【令和3年度の主な事業目標（指定管理計画（R元～R5年度）の3年度目標）】

- 来場者数（展示場本館・新館、会議場の3施設合計） ⇒ 96万人以上
- コンベンション誘致件数（九州規模以上） ⇒ 250件以上
- 施設稼働率 ⇒ 展示場本館 70%以上、新館 80%以上、会議場 90%以上

## 【目標達成に向けた令和3年度の事業活動】

### 取組1. 主催展示会事業の強化（公1：見本市・展示会事業） 〈140,598千円〉

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する状況において、  
 (1) 時代に適応したハイブリッド型展示会の展開  
 (2) 展示会の再編・新規開発と効率化・高度化  
 を柱に、主催展示会事業の強化に取り組む。

#### (1) 時代に適応したハイブリッド型展示会の展開

展示会における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に万全を期するとともに、開催する8事業において、オンライン技術の活用による情報発信を組み合わせたハイブリッド型展示会を展開する。

また、展示会の課題解決機能を向上させるため、従来6月と10月に開催してきたビジネス系の展示会を集約して「課題解決EXPO2021」の冠で開催する。

生産性の向上やデジタルトランスフォーメーション（DX）の導入などによる、ESG（Environment・Social・Governance）経営の推進をメインテーマとして開催し、展示会会場とオンラインを組み合わせたビジネスマッチングを実施する。

#### 《令和3年度開催の事業》

	事業名	開催期日	入場目標	出展目標
課題解決EXPO	西日本製造技術イノベーション2021	6月30日 ～7月2日	10,000人	70社・団体
	第47回ふくおか産業技術振興展			10社・団体
	エコテクノ2021 ～地球環境ソリューション展～			60社・団体
	エコテクノ2021 ～エネルギー先端技術展～			40社・団体
	エコ・ベンチャー・メッセ2021			20社・団体
	中小企業テクノフェア in 九州2021			70社・団体
	第43回西日本陶磁器フェスタ	9月16日～20日	45,000人	200社
	P.P.C.2021 第23回西日本国際福祉機器展	11月18日～20日	10,000人	100社・団体
	合計	8事業	65,000人	570社・団体

《主な企画内容》

■ 『課題解決EXPO』

西日本製造技術イノベーション	航空機宇宙産業の振興と参入促進や、地域企業の製造現場におけるDX推進のための企画を実施。
エコテクノ (地球環境ソリューション展)	BCP(事業継続計画)や災害対策を環境技術と同様の「人や社会を様々な変化から守る技術」と捉えて「BCP・災害対策コーナー」を設置。
エコテクノ (エネルギー先端技術展)	洋上風力発電事業の展示と見学ツアーを実施。また、会場とオンラインによるハイブリッドセミナーを開催。
中小企業テクノフェア in 九州	ニーズ調査に基づいた出展社勧誘、「シーズ説明会」のオンライン開催などによるビジネスコーディネートを推進。

■ 『西日本陶磁器フェスタ』

芸術(西日本陶芸作家展)・文化(生け花&花器)の視点での様々な企画を展開する。東アジア文化都市の事業として、アジアから伝来した陶磁器文化を紹介する展示の企画や、感染症への対応として、ホームページでの出展窯元の紹介・作品PRを行う。

■ 『西日本国際福祉機器展』

出展社に出展し易い環境を提供するため、出展料金を割安な価格で設定するとともに、前年度に構築したオンライン展示会を拡充し、SNSの活用などにより、メーカーと意見交換が出来る仕組みを整えるなど、マッチング効率を高める取り組みを行う。

《ビジネスマッチングの開催》

地元企業の受注確保や新規取引先の開拓支援のため、行政関連団体、金融機関などの協力によりビジネスマッチングを開催する。

- オンラインでの実施を組み合わせ、「会場⇔会場」「会場⇔オンライン」「オンライン⇔オンライン」など複数形態の面談を可能とする実施体制を整備。
- 各展示会で共通仕様の「課題解決伝言板」を展開し、マッチング機能を強化。

《国際ビジネスの推進》

韓国釜山広域市BEXCOとのMOUに基づき、相互の主催展示会のPR実施や、新規展示会のテーマ開発、感染症の影響下における対策などの意見交換を行う。また、感染症収束後に相互連携によるアジア各国への勧誘活動や、相互交流出展を行う。

(2) 展示会の再編・新規開発と効率化・高度化

■ 展示会の新規開発・ブランディング等の調査研究

地域経済情勢を踏まえたテーマにより市場調査・経済分析を行い、新規展示会開発や展示会のブランディング、市場拡大のための他地域での展示会開催等について研究する。また、展示会主催団体との連携を図り、見本市・展示会の共同開催の可能性を探る。

■ 展示会運営の効率化

装飾・電気工事のプロポーザル制度の課題に基づいた見直しや、展示会公式サイトプラットフォームの共有化による出展誘致・集客の効率的運用などに取り組み、展示会運営の効率化を図る。

■ 展示会人材の育成

展示会の集客やマッチングなどの専門家を招いた勉強会や、WEB会議ツール、SNSなどのIT関連の研修を実施し、展示会技術の高度化や業務の効率化に対応する。

取組2. MICE誘致の強化(公1:会議・大会等)

〈81,633千円〉

日本政府観光局(JNTO)発表の「2019年国際会議開催件数」で北九州市は3年連続で過去最高タイの全国8位となった。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているが、国際・全国規模の学会・大会などを数多く誘致するため、

- (1) グローバルレベルの誘致強化
  - (2) 誘致営業活動についての取り組み
  - (3) ステークホルダーとの連携
  - (4) MICE開催地としての総合的な魅力向上
- を柱に、積極的にMICE誘致に取り組む。

(1) グローバルレベルの誘致強化

国内外の見本市・商談会へのオンライン参加などにより、北九州市でのMICE開催の魅力を積極的にアピールする。また国際会議協会(ICC)に加入しており、ICCを通じて北九州開催に適した会議の情報収集を行うなど、グローバルレベルの誘致体制を整備する。さらに、SNSの活用による誘致情報の発信やホームページの更新など、PRツールの充実を図る。

(2) 誘致営業活動についての取り組み

国際MICEエキスポ(IME2022)への出展や、北九州市MICE倶楽部首都圏交流会の開催などにより、商談への参加やキーパーソン等とのネットワークの継続・拡大を図る。新型コロナウイルス感染症が収束していない状況においては、オンラインによる営業を強化する。また、MICE開催助成金の効果的活用、スポーツ関係の誘致等にも取り組む。

(3) ステークホルダーとの連携

地元大学と締結した「コンベンションの誘致及び開催に関する連携協定」や地元ステークホルダーと設立した「北九州市グローバルMICE推進協議会」を通じ、会議情報の共有やオンラインを含めた海外への誘致セールス、開催支援活動に取り組む。

また、JNTOとの連携により国際会議を誘致した実績を活かし、JNTOとの連携を強化して誘致活動を推進するとともに、情報収集や北九州市の情報発信を図る。

(4) MICE開催地としての総合的な魅力向上

会議支援制度の継続実施、多彩なアフターコンベンションの提案、ユニークベニューの活用、主催者ニーズに応じたコンベンションボランティアによる支援、新型コロナウイルス感染症対策費用への一部支援など、MICE開催地としての総合的な魅力向上を図る。

**取組 3. 貸館利用者の誘致・営業の強化（公1：施設の管理運営）〈12,285千円〉**

新型コロナウイルス感染症により減少した貸館利用の回復を目指し、

- (1) リピーターの利用再開と過去利用者の掘り起こしへの取り組み
  - (2) 新規利用者の開拓
  - (3) 新しい会場利用価値の創造へ向けた取り組み
  - (4) エンターテインメント分野の誘致
- を柱に、誘致営業に取り組む。

**(1) リピーターの利用再開と過去利用者の掘り起こしへの取り組み**

リピーターの利用再開に向け、感染防止に必要な消毒・検温等を実施するハード面・ソフト面の提案を行い、安全安心に利用再開できる環境整備を行う。

また、年間複数回利用がある「自動車」「建材・電設資材」等業界の利用については、利用日程の年間提案や重複防止の調整を行った営業により安定的・効率的な会場稼働を目指す。

**(2) 新規利用者の開拓**

展示会以外の新たな分野の利用開拓を進め、利用形態の多様化を図る。特に資格試験や入学試験などの試験会場については、感染症が収束していない状況下でも中止されることなく実施され、従来よりも広い会場を必要とするため、新規開拓に注力する。

**(3) 新しい会場利用価値の創造へ向けた取り組み**

DXにより実現したWeb上でのリアルとバーチャルを組み合わせたサービスや、ホームページの活用により開催後も継続して顧客と繋がることのできるサービスなど、会場利用者へ新たな価値や成果を提供するサービスの創造に取り組む。

また、それらのサービスを使った企画提案型営業の確立に向けた調査・研究を実施する。

**(4) エンターテインメント分野の誘致**

全国を巡回するスマートフォンのゲームや本格的なeスポーツの大会、地方展開を行っているサブカル的なアイドルやアニメ関連イベント、コンサート等のエンターテインメント分野の福岡開催を誘致することで、会場利用の促進と来場者の増加を図る。

また、これらの誘致を促進するため、イベント主催者となるテレビ局や新聞社、プロモーターとの連携強化を図る。

**取組 4. 広報・宣伝、地域連携（公1・収1：施設の管理運営）〈7,949千円〉**

**(1) 広報・宣伝**

ホームページに加え、情報誌「催事案内」の発行、小倉駅JAMビジョンによるPR、新聞広告、JR主要駅やモノレール各駅へのポスター掲示など、開催告知・集客対策を中心とした会場利用者の支援につながる広報活動を実施する。

**(2) 地域連携（小倉駅新幹線口振興連絡会などとの連携）**

小倉駅新幹線口のにぎわいづくりと魅力アップに貢献するため、ミクニワールドスタジアム北九州などと連携したイベントを検討するとともに、小倉駅新幹線口地区振興連絡会と連携し、来訪者向けの情報発信や地域の交流活動を通じた地域活性化に取り組む。

また、小倉中央商業連合会との連携により、魚町商店街内に歓迎バナーやポスターを積極的に掲出し、小倉駅南北の往来活性化を図る。

**取組 5. お客様満足度の向上（公1・収1：施設の管理・運営）〈624,268千円〉**

**(1) サービスの向上**

アンケートやヒアリング等で寄せられた意見について協会内で検討し、改善・対応策をホームページで公開することで利用者との信頼関係を構築する。

また、オンライン会議に必要な設備・備品の整備など、ウィズコロナに対応した施設サービスの提供に努める。

**(2) 職員の資質・能力の向上**

個人情報保護や情報公開などコンプライアンスの遵守等を意識しながら、職員資質、能力開発を図ることにより、サービスの質の向上を目指す。また、QC活動を通じて、日々の業務の見直しや職員間の意見交換、あるいは情報共有の意識を高め、組織全体のレベルアップを図る。

**(3) 災害による被害の甚大化に対応する防災体制の検討**

近年、自然災害による被害の甚大化が進んでおり、施設管理や災害時の危機管理が重要となっていることから、予防保全や危機管理体制の整備に努める。災害発生に備えて緊急時対応や連絡体制を構築し、利用者の安全、安心の確保に全力を尽くす。

**(4) 施設・設備の改修等**

LED等の高効率設備の導入や機器の更新による省エネ化を進める。

また、建物の壁面改修などの美観回復工事やオンライン会議への対応、感染症対策となる改修などに順次取り組むとともに、机・椅子等の備品類のメンテナンスに取り組む。

**(5) 展示場本館の対応等**

雨漏れの防止対策をはじめ、トイレ改修（洋式化）、中展示場・小展示場の空調システムの更新を検討し、美観回復と利用促進につながる改修を進める。

また、耐震改修工事については、定期利用者等との今後の利用日程の調整を慎重に行いながら工期の設定に向けた準備を進める。

**取組 6. 観光客の誘致及び滞在化促進（公2・収2：観光事業の振興）〈16,080千円〉**

**(1) 観光客誘致事業・滞在化促進事業**

マイクロツーリズムなど、ウィズコロナに対応できる受け入れ態勢を構築するとともに、国や北九州市の経済対策メニューと連携した事業を展開する。

東アジアを中心とした海外に向けては、新型コロナウイルス感染症の収束後（アフターコロナ）を見据えて、海外の旅行社へのオンライン商談会などを活用した、きめ細かな情報発信、セールスを継続的に実施する。また、北九州市在住の留学生ブロガー向けのFAMツアーなどを行い、最新情報を世界に向けて発信する。

国内に向けては、ターゲットを絞った観光キャンペーンや旅行社へのセールス活動を行い、マイクロツーリズムの推進や夜型観光資源を活用した滞在化促進を目指す。

**(2) 修学旅行誘致事業**

北九州市及び民間事業者で修学旅行誘致ワーキンググループを組織し、ウィズコロナに対応する修学旅行の増加に向けた独自メニューの開発や仕組みづくりを行い、旅行社へのセールスを実施する。

**(3) 助成事業**

国や北九州市の経済対策メニューと連携した助成金事業を実施し、北九州市への旅行商品の企画を促進する。

**取組 7. 観光都市北九州の広報宣伝と観光情報の収集・調査（公2・収2）〈3,589千円〉**

北九州市の観光情報やイベント・コンベンション情報を掲載した機関誌「北九州観光だより」の発行や北九州市観光情報サイト「ぐるリッチ！北九州」の運営、観光カレンダーや観光絵葉書等の関連書籍の発行を行う。また、ホームページやFacebookのアクセス解析・分析を行うなど観光客誘致のシステムづくりに向けた調査を行い、その結果をウィズコロナ・アフターコロナの観光客のニーズに合致する観光素材の開発やPR活動の強化に活かす。

**取組 8. 観光に関する人材の育成及び啓発（公2：観光事業の振興）〈2,745千円〉**

観光客の受け入れ体制の充実を図るとともに、アフターコロナの観光促進を図るため先進的取り組みを行う事業者のおもてなし活動について、Facebook等での情報発信を行う。あわせて、観光業務従事者を対象にアフターコロナにおけるおもてなしや観光戦略についてのセミナーを実施する。また、観光ボランティアについてもウィズコロナ・アフターコロナに対応できる体制を構築する。

**取組 9. 観光に関する施設の管理・運営（公2・収2：観光事業の振興）〈97,893千円〉**

**(1) 観光案内所等の運営**

北九州市、九州旅客鉄道(株)、西鉄バス北九州(株)、北九州エアターミナル(株)、当協会で組織する「北九州市観光案内所運営協議会」において、小倉駅、門司港駅、北九州空港の市内3ヶ所にある観光案内所での官民一体となったサービスの強化を図る。

ノウハウのある事業者に委託し、ウィズコロナに対応したガイドラインに沿った安全な運営を行う。

**(2) 土産品・特産品売店の運営**

門司港レトロ地区の「北九州おみやげ館」の運営と、TOTOミュージアムの売店の運営受託を行う。

感染症対策を徹底するとともに、「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」開催による観光客の回復に対応する。

また、門司港レトロ地区の中心的売店としてのPRを重点的に行い、新商品や話題の商品等を考慮した品揃えの充実とキャッシュレスでの支払方法をより強化することで収益増を図る。

**(3) 小倉駅イベント広場等の運営**

JR小倉駅3階のJAM広場及びJAMビジョンについて、北九州市の玄関口にふさわしいにぎわいの創出につながるイベントの実施や新たな顧客開拓につながる営業活動を行うことで収益増を目指す。

**取組 10. 特産品の紹介・宣伝（公2・収2：観光事業の振興）〈13,880千円〉**

北九州市の特産品紹介のパンフレットの作成・配布を行う。また、ホームページで特産品を紹介し、通販サイトで購入できるシステムの管理運営と、市内外で開催されるイベントや観光物産展への参加により、購入機会の提供を行う。

通販サイトでは、商品構成を随時見直し、よりニーズの高いラインナップを取りそろえるとともに、話題性の高い商品の発掘など、魅力あるサイト運営に努める。

また、MICE事業との連携として、北九州国際会議場Sea Loungeへの特産品の常設展示、小倉駅新幹線口で開催される会議、大会、展示会等の会場における臨時売店の出店を行う。